

☆☆☆ 三橋新会長就任挨拶 ☆☆☆

この度、6月13日の第69回通常総代会におきまして、はからずも水元前会長の後任として生協会長職の大任を承りました。私にとりまして、大変光栄なことであるとともに、改めて歴史ある組織の舵取り役としての責任の重大さを痛感しております。まず、なにを置きましても、水元前会長のこの二年間のご尽力に心より感謝を申し上げます。水元前会長には、共済制度改正や新事業展開に強力なリーダーシップを発揮していただきました。微力ではありますが、「阪神・淡路大震災」を経験し、全国の方々に多大なご支援をいただいた御恩を感謝にかえて、副会長・理事の皆様並びに監事の皆様のご指導・ご協力をいただき、誠心誠意努力をしてまいりますので、何卒宜しくお願いいたします。

さて、本組合は昭和24年に、当時の厚生省（現：厚生労働省）の認可を受けて、酒類業を営む方々のための福利厚生団体として設立されました。以来、自主的な相互扶助組織として安定した運営に努め、組合員の生活の安心と生活文化の向上に大きな役割を果たしてまいりました。

共済生協を取り巻く事業環境は、保険市場における競争激化、超高齢・少子社会、債権法改正による共済実務への影響等急速に変化しています。しかし、この様な時にこそ、共済の意義と役割を原点から見直し、助け合いの輪を広めなければならないと考えております。

云うまでもありませんが、生協事業は人と人の繋がり合いという崇高な理念により運営されております。共済加入は平成4年度をピークに漸減しておりますが、組合員のための福利厚生事業である酒販共済及び保険代理募集事業を活発化させ、皆様方のご理解の中に円滑な運営を行ってこそ、業界全体をサポートする大きな道であると認識しております。今後の生協事業の運営に対し、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。